



特定非営利活動法人
フードバンク福岡
紹介パンフレット

2018年1月 発行



◇ごあいさつ◇

世界規模で、食品ロスが大きな社会問題となっています。日本でも、食料の6割以上を海外に依存している状態にありながら、年間に生産される米と同じくらいの量の食品が捨てられています。

その一方で世界では8億人の人が飢餓に苦しみ、1日に1万9千人の子どもたちが飢餓で死んでいます。

日本では、6人に1人の子供が貧困と言われ、ひとり親家庭の子どもは、半分以上が貧困で苦しんでいます。福岡県においては、子供の貧困率は23%に上り、子育て世帯の貧困率は19.9%と全国で4番目に高い数字となっています。

もともと日本は、「もったいない」発祥の国として、ものを大切にする文化がありました。しかし今の世の中はどうでしょうか。食品企業で、スーパーで、家庭で、いろいろところで大量の食べ物が当たり前のように捨てられています。

このようなもったいないをなくしたい。この食品があればどれだけ多くの人を助けることができるのか。この矛盾した社会を何とかしたいとの想いから、フードバンク福岡は設立されました。

フードバンク福岡では、単に食べ物を提供するだけでなく、もったいないという心を育て、食べ物を通じて人と人が繋がり、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、心の通った温かい社会を作ることを目的としています。

福岡が食べ物と人を大切にする、心の豊かな街になるように、皆さんと一緒に活動していきたいと思います。



理事長 雪田千春

◇フードバンクとは◇



賞味期限内でまだ食べられるにも関わらず、印字ミスや箱が壊れたり、規格外として販売できない食品を、企業・農家・個人などから受け取り、食べ物に困っている人や福祉施設に無償で提供する活動です。

日本では、品質や安全性に問題がないのに処分されている食品が年間500～800万トンもあります。

フードバンクは、この社会にあふれる「もったいない」を「ありがとう」に変える仕組みとして、あるいは新しい社会システムの構築、企業の社会貢献度を手助けする活動です。

◇フードバンク福岡が目指すもの◇

お互いの名前がわかる生活圏での共助・循環

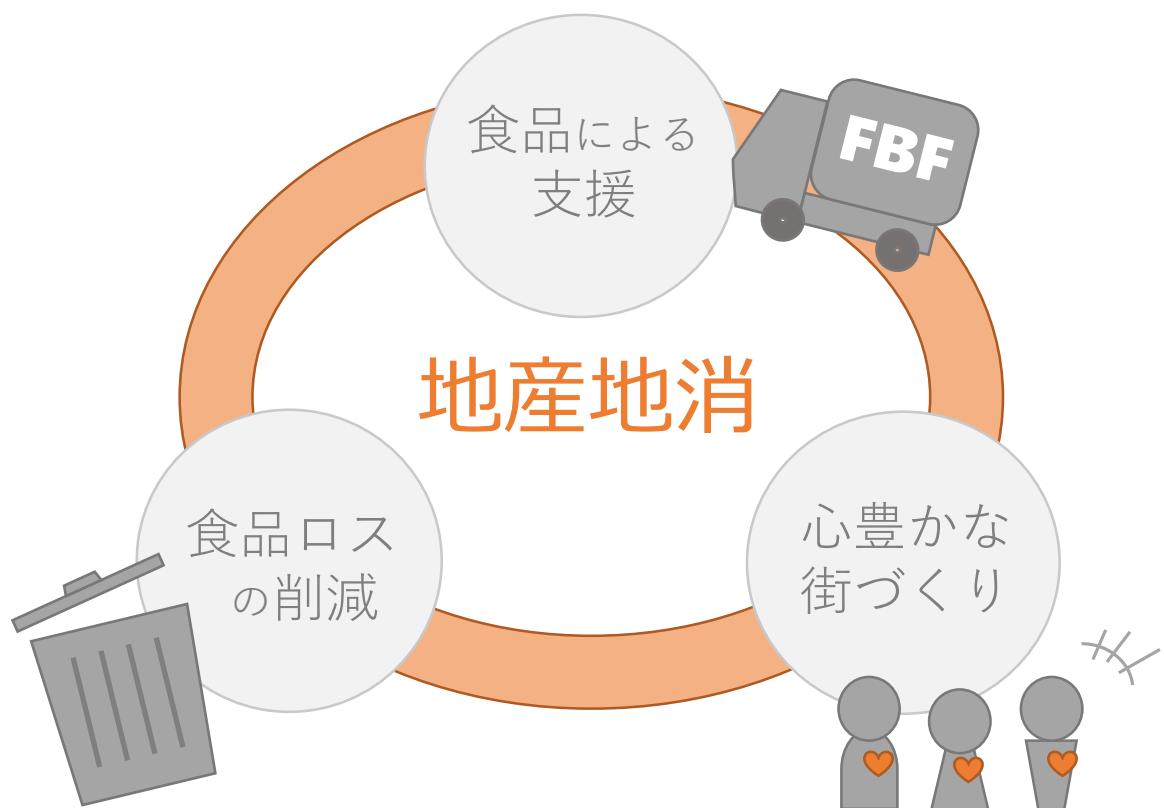
『もったいない』をなくし、 『おすそわけ』を当たり前に。

たくさんとれすぎた家庭菜園の野菜や、お中元やお歳暮の食べきれない食品を近所に配ったり、町内会で困っている世帯をみんなで支えることが、ごく自然に行われる社会を創りたい。

フードバンクは、「食品を提供したい人」と「食品を必要としている人」をつなぐ役割を果たしています。この「食品をつなぐ」ということには『信頼関係』がかかるかもしれません。知らない人・信頼できない人から食品を渡されても、誰も口にしないでしょう。

今、食に関するセーフティネット構築において、フードバンクが注目を集めています。食をつなぐ最小単位は「信頼できるご近所付き合い」であると考えます。

私たちフードバンク福岡は、食のセーフティネットを支えるフードバンクの仕組みをつくることをはじめ、食の地産地消が地域に根差し、食品がムダなく活用され、誰もが新鮮で安全な食品を分かち合える豊かな社会づくりを目指しています。

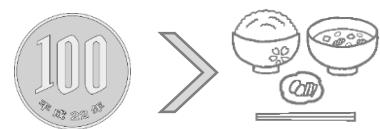


◇私たちの身近にある貧困◇

食べ物に困っているというと私たちは先ず発展途上国の子ども達を思い浮かべるのではないでしょうか。しかし、厚生労働省が行った「平成25年国民生活基礎調査」により、平成24年時点における日本の子どもの相対的貧困率は16.3%に上ることが明らかになりました。これは、日本の子どものおよそ6人に1人が貧困状態に置かれていることを示しています。



相対的貧困率は貧困線以下の世帯を指し、平成24年の貧困線は122万円でした。家賃や水光熱費を含む1か月の生活費が約10万円ということになります。特に、ひとり親家庭に限ってみると、貧困率は54.6%と半数を超えていました。NHKがフードバンク山梨らと行った調査では1人当たりの1日の食費が300円に満たない家庭が半数近くあり、8割以上がおかずを十分に確保できず子供に栄養不足などが見られるといいます。



1食当たりにすると…

出典：厚生労働省資料「ひとり親家庭の現状について」

福岡県におけるひとり親世帯の年間収入（税込）

| | 収入はない | 100万円未満 | 100万円～150万円未満 | 150万円～200万円未満 | 200万円～300万円未満 | 300万円～400万円未満 | 400万円～500万円未満 | 500万円～700万円未満 | 700万円～1,000万円未満 | 1,000万円以上 | 無回答 | 平均額(万円) |
|-------|-------|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------|-----|---------|
| 母子家庭 | 1.4 | 123 | 18.9 | 16.8 | 25.7 | 10.3 | 5.9 | 3.6 | 1.6 | 0.3 | 3.2 | 236 |
| 父子家庭 | 22 | 62 | 3.9 | 9.9 | 21.1 | 19.6 | 10.8 | 14.2 | 5.0 | 1.2 | 5.9 | 367 |
| 養育者家庭 | 3.9 | 16.8 | 9.7 | 17.4 | 21.9 | 8.4 | 5.2 | 4.5 | 1.9 | 1.9 | 8.4 | 251 |

(平成23年度 福岡県母子世帯等実態調査)

※ 年間収入(税込み)の平均額は、「100万円未満」は50万円、「100万円～150万円未満」は125万円など、それぞれの中間値をとり、「1,000万円以上」は1,200万円とし、「収入はない」と「無回答」を除いた標本数で算出したものである。

◇廃棄される食品◇

様々な理由で廃棄される食品（福岡県内の事例より）

まだ食べられる食品であっても、以下のような様々な理由により、多くの食品が捨てられています。福岡県では年間に25万トン（事業系12万トン、家庭系13万トン）の食品ロスが発生しているとされています。



検査で袋が開けられ流通できなくなる。



余剰生産



季節商品の売れ残り



賞味期限、消費期限



農家で収穫する人がいないため廃棄



規格外品

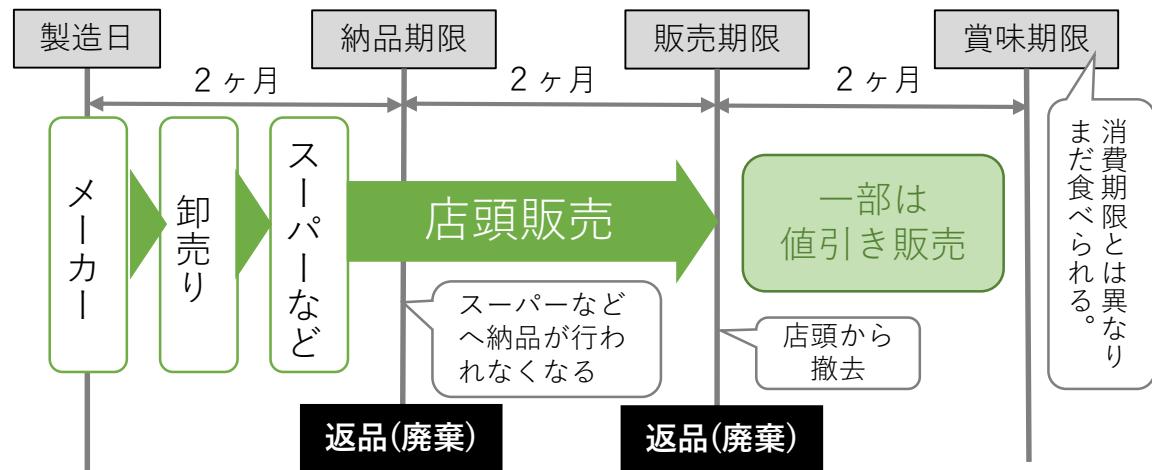
- 展示会やイベント、スポーツ大会などで余ったもの
- 定番商品のカットによる在庫
- 災害備蓄品などの入れ替え

3分の1ルールの問題

食品流通業界の商習慣で、賞味期限の3分の1が小売店への納品期限、3分の2が小売店での販売期限とされています。期限を超過した商品は返品されるか多くは廃棄されてしまいます。

業界団体はこの商習慣の見直しに取り組み始めていますが、消費者である私たちも、過剰に新しいものを求める「鮮度志向」に陥っていないか省みる必要があります。

3分の1ルール概念図《賞味期限6ヶ月の場合》



◇設立の目的◇

この団体は、まだ食べられる食品が多く捨てられている現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にする意識の醸成を図り、食を通じて人と人が繋がり、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、誰もが尊厳をもってその人らしく暮らし、働くことが出来る社会を作ることを目的とする。

◇5つの事業◇

1.地産地消の 食品ロス削減事業

- ・福岡県内企業から食品の寄贈を受ける
- ・福岡県内企業のネットワークと流通構築

2.市民参加活動事業

フードドライブやイベント開催などを通じ、市民同士の共助関係を築く。

3.子どもの未来応援 プロジェクト事業

- ①ひとり親家庭支援
- ②学校や学習支援団体との連携
- ③子どもの居場所づくり事業や子ども食堂との連携

4.食のセーフティ ネット構築事業

行政・社会福祉協議会等と連携した、生活困窮者への食品提供

5.福祉施設支援事業

自立支援施設や障害者支援施設などへの食品提供

被災地支援 フードバンク福岡では、日頃から食品を扱っているノウハウを活かし、災害時には食品による支援を行っています。

記る

子どもの未来応援プロジェクト

子ども食堂へ

1 1か所の子ども食堂に食材の支援～バナナ、冷凍ケーキ、トマト、パン、お菓子、ワイン、冷凍食品、お米など



学校へ

H27年5月 東区城香中学校で朝ごはん支援開始。

H29年10月現在6校で朝ごはんを提供



フードサポートの取り組みで、調理室に用意されたパンと牛乳、バナナ=福岡市西区の市立西陵中で2017年5月23日午前7時48分、野田武撮影

無料学習支援へ

H27年より、福岡市の2つの無料学習支援実施団体（エスペランサ、いるかねっと）への食料支援を開始。現在エスペランサ4か所、いるかねっと12か所

食のセーフティネット

・福岡市社会福祉協議会と合意書締結 →各区社協へ食糧支援

・朝倉市役所と合意書締結 →九州北部豪雨災害支援

・太宰府市、筑紫野市、春日市、那珂川町と合意書締結 →生活支援窓口へ食糧支援

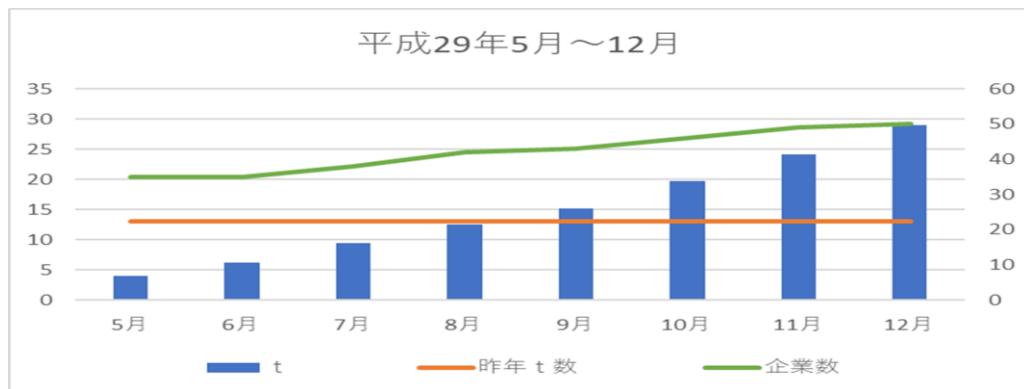
・うきは市社会福祉協議会と合意書締結 →子ども支援窓口へ食糧支援



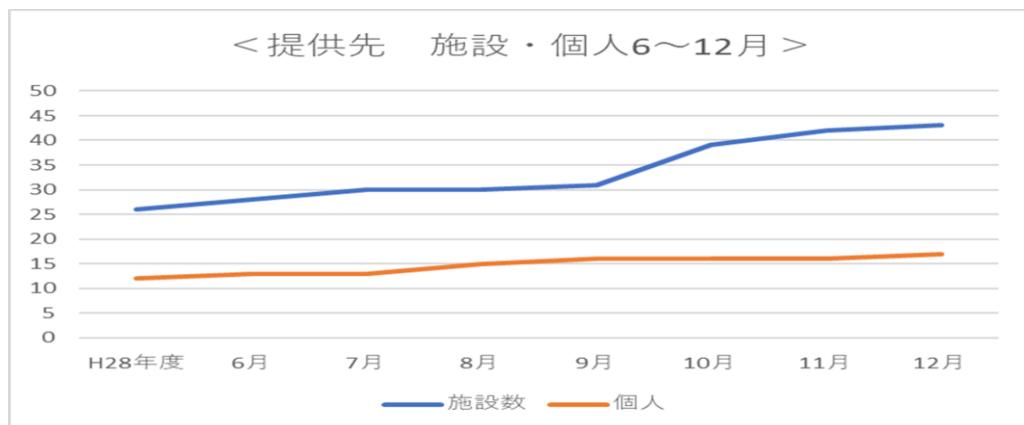
福祉施設へ→共に助け合う社会づくり

- ・自立支援施設入所者の自立を促す継続的なボランティア
- ・障がい者が社会参画できる、共助社会づくりへ貢献。

◇配達実績 4～12月累計 28.94 t (昨年度実績13 t) ◇
食品提供企業数12月現在50社



◇提供先施設42団体、個人16世帯(12月現在) ◇



◇食品提供企業の想い◇

フードバンク福岡にソーセージやハムを提供してくれている(株)九食の西島社長にインタビューさせていただきました。

食品提供を始めたのは、計画生産から発生する余剰や規格外品がもったいない、どうにか役立てることができないかと思案する中で、フードバンクを知ったのがキッカケとのこと。当時、福岡にフードバンクはなく広島まで社長自ら車を走らせていました。

もったいないから始まった食品提供でしたが、今の日本に食べ物に困っている人や子ども達がいるという事実を詳しく知るにつれ、今日では積極的な支援や地域貢献として欠かせない活動となっているとのことです。



(株)九食 西島社長

◇受け取り先の声◇

皆さまからお預かりした食品を受け取られた方から、沢山の喜びの声や感謝の言葉が届いています。ここでは、ほんの一例ですが受け取り先の声を紹介します。

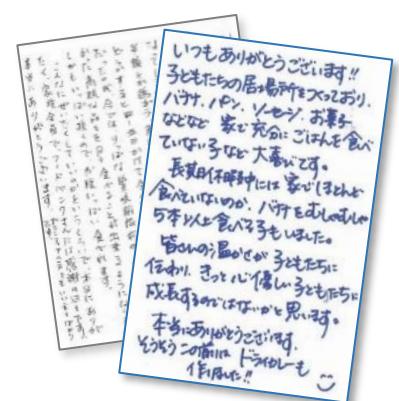
○子どもの居場所づくり団体

長期休暇中には家でほとんど食べていないのか、バナナを5本以上食べた子もいました。皆さんの温かさが子どもたちに伝わり、きっと優しい子どもたちに成長するのではないかと思います。

○個人の方

支援をしていただく前は、主食はパンの耳、たまに安く手に入れた古米のくず米を、肉は、半額とか鶏ガラ、魚はアラ（骨）しか買わず、それも1パックを4,5日かけて食べていました。

賞味期限前の立派な食品をお腹いっぱい食べることができて、フードバンクさんには感謝の日々です。



◇支援の方法◇

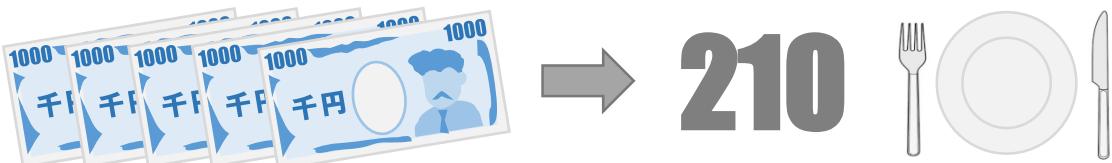
フードバンク活動は無償で寄贈いただいた食品を、無償で必要とする方に提供しており、活動自体で収益を上げることができないため、食品をお届けするための送料や運営費などを寄付に頼らざるを得ません。

ぜひフードバンク福岡の趣旨に賛同される方はサポーターになって下さい。

○お金の寄付によるサポート

安定したフードバンク運営のために継続したご支援をお願いします。

5,000円の支援により、210食分の食品を届けることが可能です。



| | | | |
|------|-------------------|------------|-------------|
| 正会員 | 年会費 1 口 | 個人 5,000 円 | 団体 20,000 円 |
| 賛助会員 | 年会費 1 口 | 個人 2,000 円 | 団体 10,000 円 |
| 振込先 | 福岡銀行 | 那珂川支店 普通 | 871236 |
| 口座名義 | 特定非営利活動法人フードバンク福岡 | 理事 | 雪田千春 |

○食品の寄付によるサポート

フードバンク福岡へ食品の寄贈をいただく場合には、以下の手順となります。まずは事務局までお問い合わせください。

| 内容確認 | 合意形成 | 集荷・配送 | 完了報告 |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・品目・数量・荷姿・賞味期限・寄贈理由など | <p>寄贈先、取扱数量、受け渡し場所、時間、受け取り方法について協議の上、合意に至った場合には合意書を締結。</p> | <p>フードバンク福岡が作成する食品管理表を基に配送計画表を作成し、食材の集荷・配送を行う。</p> <p>場合によっては、フードバンクにて一時保管。</p> | <p>配送完了後、食品管理表へ帳票入力を行い。</p> <p>配送実績を報告書として寄贈者に回答致します。</p> |

フードバンク福岡で取り扱える食品・取り扱えない食品

- | | |
|----------------|---|
| ➤ 缶詰などの加工食品 | ➤ お弁当・サンドイッチ (販売期限と消費期限の間隔が近すぎて配達できない) |
| ➤ 野菜・果物などの生鮮食品 | ➤ 食べ残し(衛生上の問題) |
| ➤ 防災備蓄品 | ➤ 賞味期限が切れているもの |
| ➤ 米・パンなどの穀物 | ➤ 消費期限が記載されていないもの |
| ➤ 冷凍食品など | |



○ボランティアスタッフとしてサポート

皆さまの特技や能力を活かして活動を支援していただくことができます。

1. 食品を運ぶ

食品の受け取り、配達、拠点間の運搬など、食品を必要な場所に運びます。

2. 食品の管理

寄贈された食品の仕分け、箱詰め、お米などの袋詰め、シール貼り、保管等を行います。

3. 事務作業・イベント・広報

パソコンを使った食品管理、会員管理、チラシやニュースレターの作成、SNSによる広報、フードドライブなどをお手伝いください。

4. 資金調達・会計

助成金申請やファンドレイジング、会計などの経験をお持ちの方はお手伝いください。



○団体・企業によるサポート

食品の提供やお金の寄付、ボランティア以外にも企業・団体の皆様だからこそご協力いただけます。

1. 備品や機材寄付

- 冷蔵庫・冷凍庫（業務用ストッカー型）
- 搬送用車輌
- クーラーボックス・保冷剤
- 事務用品（PC、プリンター、コピー用紙等消耗品）

2. 食品運搬のご協力

食品関連企業でなくても貴社の物流ネットワークを活かした食品運搬や事務所・倉庫スペースを活用した商品の一時保管など、貴社の強み活かした社会貢献活動をしませんか。先ずは気軽にお問合せください。

3. 寄付型自動販売機の設置

売上の一部を自動的にフードバンク福岡への支援にまわせる寄付型自動販売機の設置をお願いしています。飲料メーカーの協力により通常より設置者利幅の大きいものや電気代無料、災害対応型のものなど用意できます。

事務局（連絡先）

〒811-1352 福岡市南区鶴田4丁目48-4

特定非営利活動法 フードバンク福岡

TEL 092-710-3205 FAX 092-710-3206

E-mail fbfukuoka@gmail.com

◇食品の提供・ご支援いただいている主な企業の皆様◇



元気な食で、元気な未来を。



創業明治十八年 鮮魚専門店
林久右衛門商店



network and security

株式会社アクティブネット

◇2017年度新たに食品提供いただいた企業の皆様◇

- ☆ 株式会社ヨシケイ 様
- ☆ 丸永製菓株式会社 様
- ☆ 株式会社プレナス 様
- ☆ 株式会社林久右衛門商店 様
- ☆ トップ卵株式会社 様
- ☆ カルビー株式会社 様
- ☆ 有限会社たかのフーズ 様
- ☆ 尾家産業株式会社 様
- ☆ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様
- ☆ 株式会社もち吉 様
- ☆ 九州太平商事株式会社 様
- ☆ 石井食品株式会社 様
- ☆ イカリソース株式会社 様
- ☆ 株式会社糸島みるくぷらんと 様
- ☆ 有限会社藤井食品販売会社 様
- ☆ 株式会社ライフサポート 様
- ☆ 株式会社久原本家グループ本社 様



特定非営利活動法人
フードバンク福岡



第3版 平成30年1月発行